

VR Media Connection

「VR Media Connection」プラグインについて

(2019年5月22日現在)

概要

「VR Media Connection」プラグインでは、Oculus Go や PlayStation® VR などのヘッドマウントディスプレイ (HMD) と RICOH THETA をワイヤレスで接続でき、THETA 内に保存されたデータを 360 度表示で楽しむことができます。HMD 以外に、DLNA の Media Player 機能を持つデバイスであれば、THETA の中のデータをワイヤレスで見ることが出来ます。

VR Media Connection プラグインを使うメリットとして、特に動画撮影後にスマートフォンなどにデータ転送するには時間がかかりますが、撮影後すぐに HMD などからコンテンツの鑑賞ができるようになります。HMD の機種によっては、ミラーリング (キャスト機能) の活用によって、HMD に没入して VR 鑑賞している人以外の方がスマートフォンやタブレットから同時にコンテンツを見ることができます。

動作モード

「VR Media Connection」は、「AP モード」と「CL モード」の 2 種類の接続モードで使用可能です。

※ HMD・DLNA 対応機器によっては、「AP モード」での使用ができない場合があります。

Access Point mode (AP-mode)



Client mode (CL-mode)



■ APモード

Wi-Fi 環境がないときに便利なモードです。THETA に HMD や DLNA 対応機器を直接接続して使用します。HMD や DLNA 対応機器のネットワーク接続設定で、THETA の SSID とパスワードを設定して THETA に接続します。

■ CLモード

THETA と HMD や DLNA 対応機器を、同一の Wi-Fi に接続するモードです。同一 Wi-Fi 下に「VR Media Connection」を起動した複数の THETA を接続すれば、1 台の HMD や DLNA 対応機器から、複数の THETA の内部データを閲覧することも可能です。逆に複数台の HMD・DLNA 対応機器から 1 台の THETA を同時に閲覧することも出来ます。

このガイドで使用する動作環境

- RICOH THETA V ファームウェア 3.00.1 以上
- 「VR Media Connection」プラグイン バージョン 1.0.0 以上
- 現時点では以下の HMD・DLNA 対応機器について動作検証を行っていますが、動作保証をするものではありません。
 - Oculus Go
 - Oculus Quest
 - PlayStation® 4 Pro ・PlayStation®VR
 - EPSON MOVERIO BT-300 (“TV Suite for MOVERIO(無償版)”使用)
 - Lenovo Mirage Solo (“SKYBOX VR Video Player”使用)

- VLC media player (Windows 版 / Mac 版)

プラグインの使用方法

事前準備

■ 「VR Media Connection」プラグインを THETA にインストールする

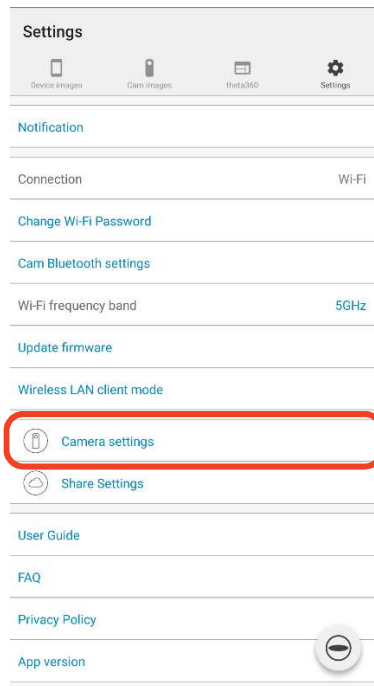
プラグインのインストール方法(https://theta360.com/ja/ricoh_plugins/)を参照し、下記ダウンロードリンクから VR Media Connection プラグインをインストールします。

- VR Media Connection ダウンロードリンク:

<https://pluginstore.theta360.com/plugins/com.theta360.vrmediaconnection/>

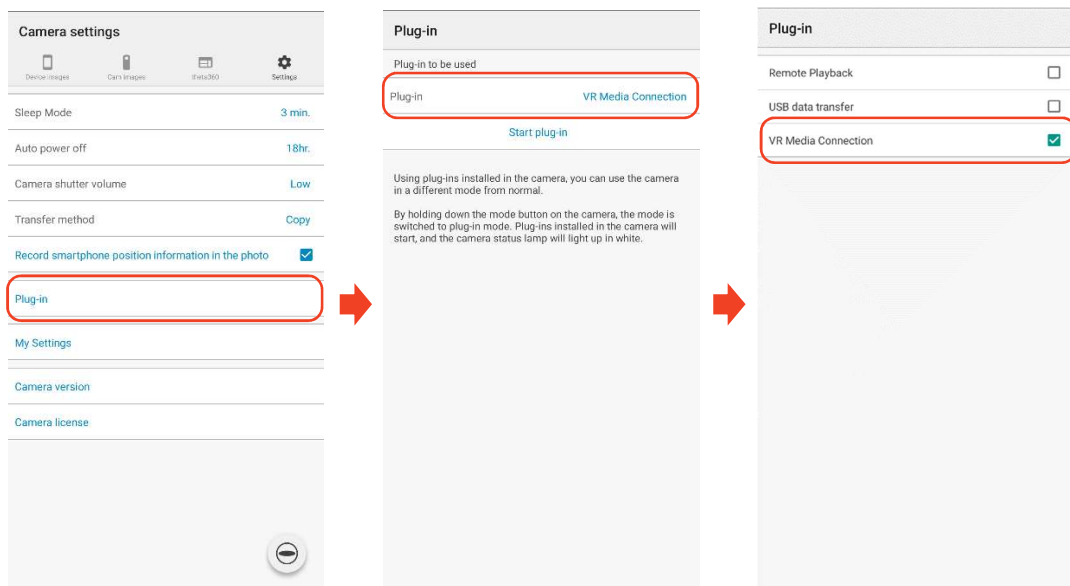
■ 「VR Media Connection」プラグインをアクティブなプラグインに設定する

- [1] THETA を起動し、「Wi-Fi」ボタンを押して AP モードにします。このとき、無線ランプが青色に点滅します。
- [2] スマートフォンの Wi-Fi 接続設定で THETA の SSID、パスワードを設定し、THETA とスマートフォンを接続します。THETA にスマートフォンが接続されると、無線ランプが点滅から点灯に変わります。
- [3] スマートフォンアプリ「RICOH THETA」を開き、「設定」を開きます。
- [4] 「カメラ設定」をタップします。



[5] 「プラグイン」をタップし、「VR Media Connection」がアクティブなプラグインであることを確認します。

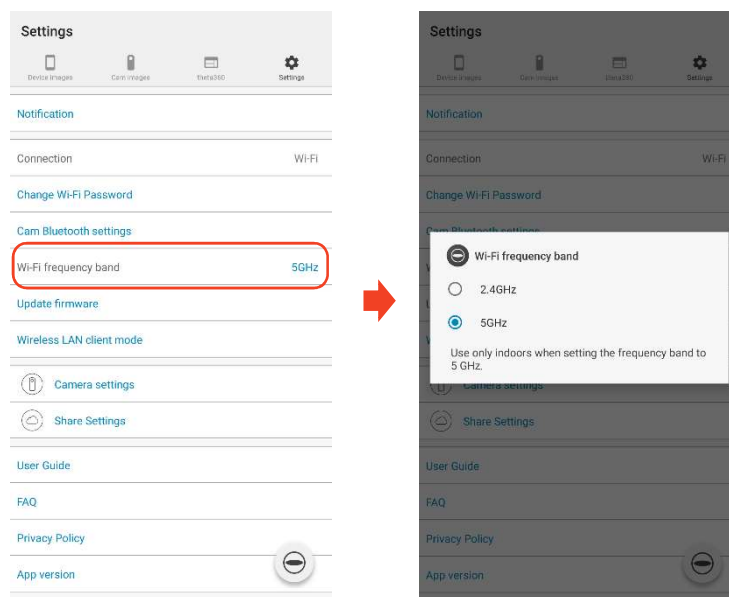
「VR Media Connection」がアクティブでない場合、「プラグイン」をタップしてインストール済みプラグインのリストから「VR Media Connection」を選択します。



■ THETA の Wi-Fi 周波数帯域を設定する

「VR Media Connection」プラグインを AP モードで使用する場合、THETA の周波数帯域を 5GHz にすることをおすすめします。ただし、周波数帯域を 5GHz にする場合は、室内のみでご使用ください。国により法律が異なります。

- [1] THETA とスマートフォンを接続します。
- [2] スマートフォンアプリ「RICOH THETA」を開き、「設定」を開きます。
- [3] 「Wi-Fi 周波数帯域」をタップし、「5GHz」を選択します。



■ 無線 LAN クライアントモード設定をする

CL モード使用時に接続する Wi-Fi の設定を行います。周波数帯域が 5GHz であるものに接続することをおすすめします。

手順の参考ビデオ: https://youtu.be/jE9_VqaVuLM

- [1] THETA とスマートフォンを接続します。
- [2] スマートフォンアプリ「RICOH THETA」を開き、「設定」を開きます。
- [3] 「無線 LAN クライアントモード」をタップします。
- [4] (a)アクセスポイント設定、(b)認証設定に、接続する Wi-Fi の SSID、パスワードを設定します。

使用手順

■ 「APモード」での使用手順



- [1] THETA を起動し、「Wi-Fi」ボタンを押して AP モードに切り替えます。このとき、無線ランプは青色で点滅します。
- [2] HMD・DLNA 対応機器の Wi-Fi 接続設定より、THETA の SSID・パスワードを設定します。無線ランプの点滅が点灯に変わり、THETA に接続されたことを確認します。
- [3] THETA の「Mode」ボタンを 2 秒押し、VR Media Connection を起動します。
- [4] HMD・DLNA 対応機器の Media Player 機能より、THETA の内部データを閲覧できます。

■ 「CLモード」での使用手順

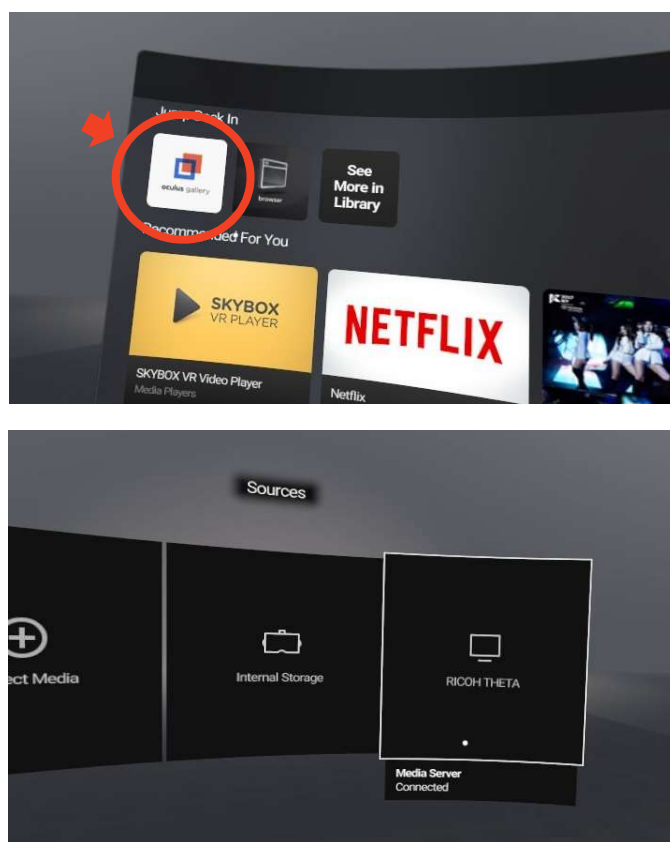


- [1] THETA を起動し、「Wi-Fi」ボタンを押して CL モードに切り替えます。このとき、無線ランプは緑色で点滅します。無線ランプの点滅が点灯に変わり、THETA が Wi-Fi に接続されたことを確認します。
- [2] HMD・DLNA 対応機器の Wi-Fi 接続設定より、THETA と同一ネットワークの SSID・パスワードを設定します。
- [3] THETA の「Mode」ボタンを 2 秒押し、VR Media Connection を起動します。
- [4] HMD・DLNA 対応機器の Media Player 機能より、THETA の内部データを閲覧できます。

■ HMD・DLNA 対応機器側の操作方法

- [1] VR Media Connection を起動すると、HMD・DLNA 対応機器の Media Player 機能上に「RICOH THETA」が表示されます。

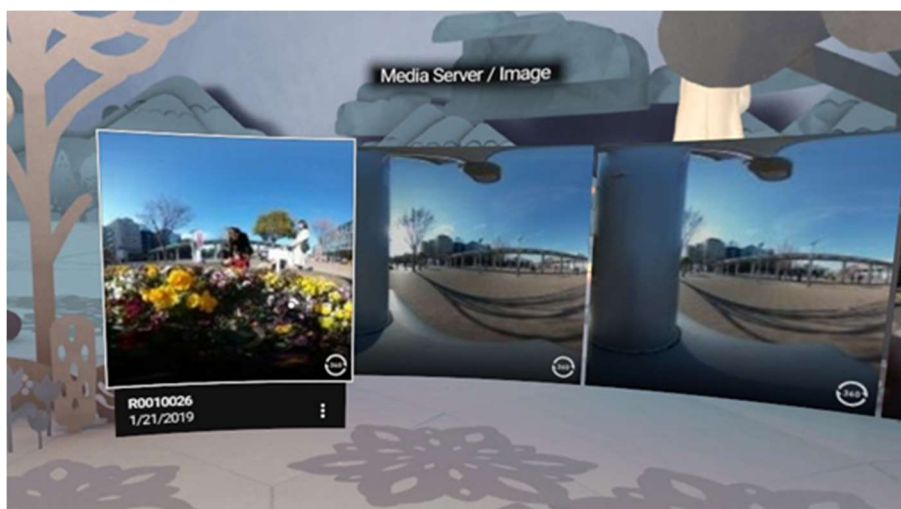
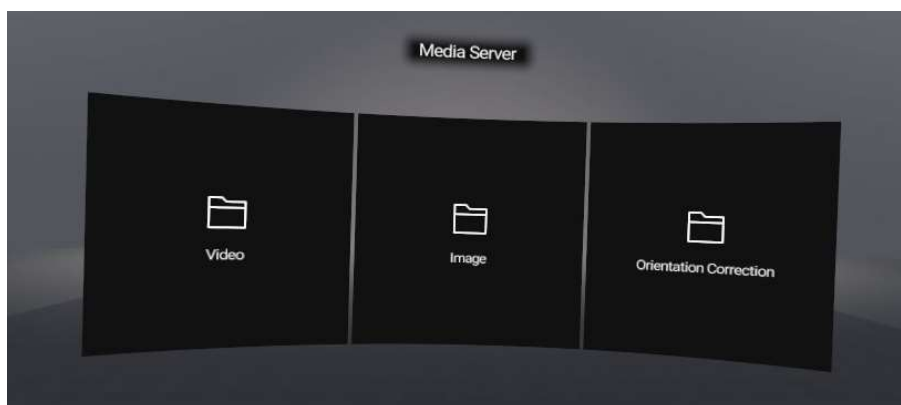
例) Oculus Go では、「Oculus Gallery」アプリに「RICOH THETA」が表示されます。



[2] 「RICOH THETA」を選択すると、「Video」「Image」「Orientation Correction」フォルダが表示されます。それぞれのフォルダを選択すると、データの一覧が表示されます。

※「Orientation Correction」フォルダについては、「[天頂補正・スティッチング処理等の動画変換を実行・閲覧する](#)」項で詳細を説明します。

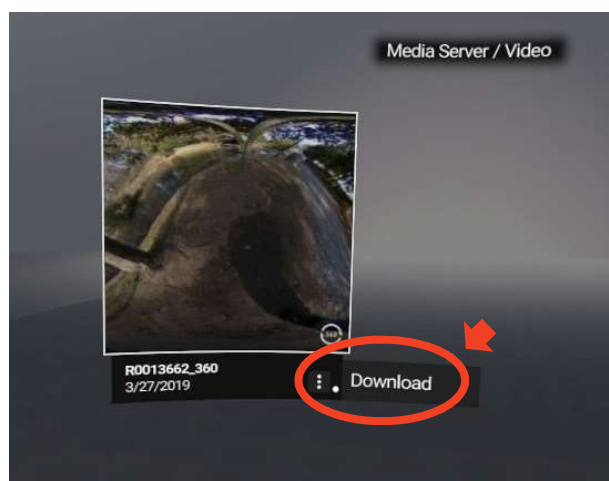
例) 以下は、Oculus Go の表示画面です。



[3] サムネイルを選択すると、データを閲覧できます。

[4] DLNA 対応機器によっては、データをダウンロードすることが可能です。

※ Oculus Go では、「AP モード」で使用時にはダウンロードはできません。

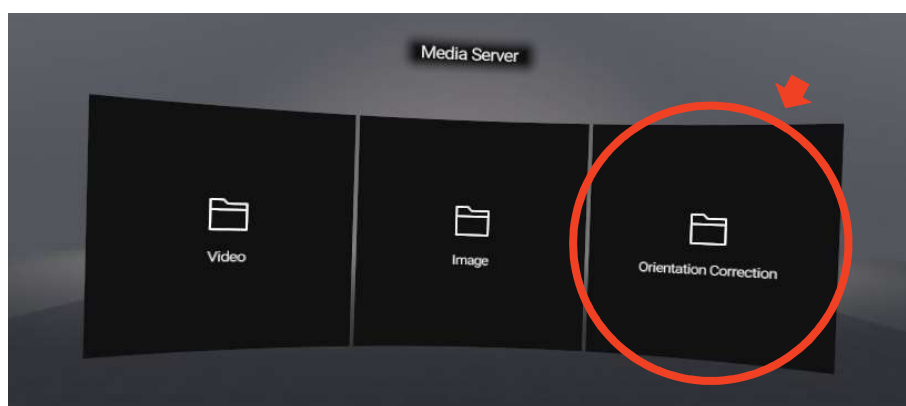


■ 天頂補正・ステッチング処理等の動画変換を実行・閲覧する

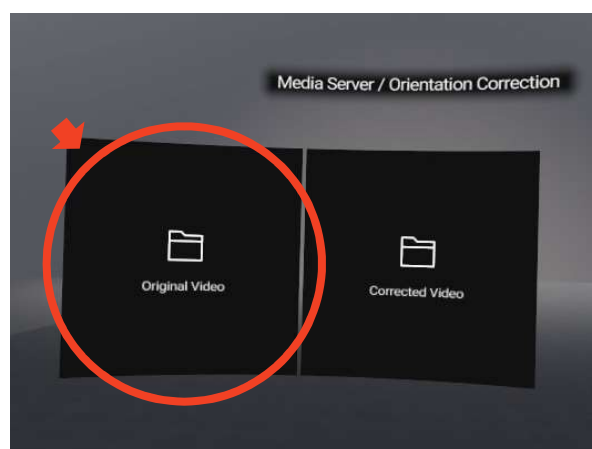
HMD・DLNA 対応機器の Media Player 機能より「RICOH THETA」を選択すると、「Video」「Image」「Orientation Correction」フォルダが表示されます。

「Video」フォルダ下には動画一覧が表示されますが、天頂補正はされていません。また、Dual Fisheye 形式の動画（ステッチング処理をする前の動画）は一覧には表示されません。動画を天頂補正したり、ステッチング処理をしたりした後のデータを閲覧したい場合は、HMD・DLNA 対応機器で本手順を行います。

[1] HMD・DLNA 対応機器の Media Player 機能から「RICOH THETA」を選択し、「Orientation Correction」フォルダを選択します。



[2] 「Original Video」フォルダを選択します。



[3] サムネイル一覧から、天頂補正あるいはステッチング処理を行いたいデータを選択します。

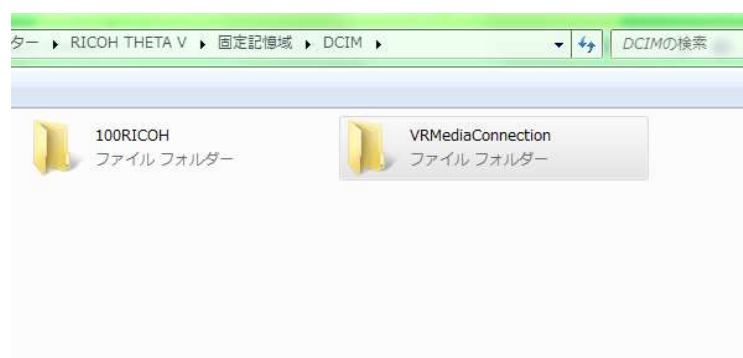
[4] 変換処理が行われます。処理中は「Processing...」と表示されます。処理が終わると「Ready for watching...」に表示が切り替わり、処理が終了したことを示す音が THETA から鳴ります。

※ 残ストレージ容量が少ない場合や、THETA の電池残量が少ない場合は、変換処理は行われません。

[5] 「RICOH THETA」の階層まで戻り、再度「Orientation Correction」フォルダ下の「Corrected Video」フォルダを選択します。

[6] サムネイルを選択し、閲覧します。

※ ストレージには「VRMediaConnection」というフォルダができ、その下に変換済みの動画が保存されます



※ HMD・DLNA 対応機器によっては、変換済み動画が正常に再生されずにスロー再生のようになる場合があります。

■ 天頂補正・スティッチング処理等の変換済み動画を削除し、動画変換機能を無効化する

動画変換機能が有効だった場合、以下の手順で無効化できます。

- [1] THETA から「ピ」と音が鳴るまでシャッターボタンを長押しします。
- [2] ストレージから「VRMediaConnection」フォルダとその配下にあるデータが削除されます。
- [3] HMD・DLNA 対応機器の Media Player 機能からは、「Orientation Correction」フォルダとその配下のデータが消失します。

■ 天頂補正・スティッチング処理等の動画変換機能を有効化する

動画変換機能が無効だった場合、以下の手順で有効化できます。

- [1] THETA から「ピ」と音になるまでシャッターボタンを長押しします。
- [2] HMD・DLNA 対応機器の Media Player 機能からは、「Orientation Correction」フォルダが再度表示されたことを確認できます。

■ プラグインの終了

- [1] 「Mode」ボタンを 2 秒押すと、プラグインが終了します。

ミラーリング動作の方法

HMD の機種によっては、キャスト機能により HMD の画面をスマートフォン等にミラーリングすることが出来ます。

※ Oculus Go でミラーリングを行う方法(2019 年 5 月時点):

<https://support.oculus.com/1053142614872870/>

注意事項

動画の天頂補正は映像の揺れを軽減しますが、HMD でコンテンツ鑑賞を行うときには VR 酔いに注意ください。可能な限り、THETA を固定して撮影することで天頂補正を不要とする撮影方法を推奨します。